

- 1 日時 令和7年11月〇日（〇） 第〇校時
- 2 学年 第3学年〇組
- 3 単元名 「自慢できる〇〇のまちにしよう」 【まちづくりで地域とつながる】
- 4 単元について

### 目標

これまで行ってきた地域のよさを調べる活動や、〇〇のまちづくりのために活動をしている方との関わりを通して、〇〇のまちを魅力あるまちにしていきたいという地域の方の思いや願いを知り、自分たちも地域の一員として、〇〇のまちを美しく魅力あるまちにいくためにできる取組を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

### 目指す子供の姿

- 〇 まちづくりに関わる人々の思いや願いを知り、〇〇のまちは人々の努力や協力によって支えられていることに気付いている。
- 〇 調べたことからまちのよさを話し合ったり考えたりして、分かりやすく伝える活動をしている。
- 〇 〇〇のまちのよさに気付き、地域の一員として愛着をもちながら行動したり、生活したりしようとしている。

### 現在の子供の姿

本学級の児童は、総合的な学習の時間に対する意欲はとて高く、自分たちで課題を見つけて学習を進めていくことを楽しんでいる。本校では毎年3年生の児童が道路沿いの花壇の花を育てる活動を行っている。これまで、自分たちで苗を買いに行ったり、花壇の整備をしたりしてきた。花を植えた後も、毎朝の花の水やりや草抜きを行うなど意欲的に活動に取り組む姿が見られる。また、「花でまちを明るく元気にしたい」や、「花壇を地域の方と一緒にきれいにしながら、つながりをもちたい」という振り返りの言葉が出るようになった。花を育てる活動を行う中で、地域の方ともしっかり関わりたいと思う児童も増えている。

グループで話し合う場面では意欲的に話す姿が見られる。しかし、全体交流になると、自分の意見に自信がもてず発言ができない児童が数名いる。そのため、発言できる児童だけで話し合いが進んでしまう場面が見受けられる。

### 単元の価値

〇〇の地域でよりよいまちをつくるために活動をしている人々について知ることで、住んでいるまちの様子やよさを再認識し、地域の人々の願いを知ることができる単元である。

地域の方のよりよいまちにしていきたいという思いを知り、分かったことを整理したり、伝えたりすることで、まちづくりへの理解を深めることができる。そして、児童が地域の一員としての自覚や、〇〇のまちへの愛着をもつことができる。

### 働きかけ・環境設定

花を育てる活動への意欲をもたせるために、始めに活動の歴史や、地域の方の思いを調べる学習を設定する。そこで、地域の方の話聞く場を設定する。児童が地域の方を知ること、今後一緒に活動したいという思いがもてるようにする。また、意欲が継続するために、児童に次時の活動を考えさせながら、主体的に学習に取り組ませたい。その際、クラスだけではなく学年全体で話し合う場を設け、課題に対する意識統一を図る。調べた情報は思考ツールを用いて整理し、新たな気付きや、課題がもてるように工夫する。そして、学習を通して学んだことを、振り返る時間を確保する。振り返りのワークシートで学習の記録を残すことで、自分の考えの変容に気付き、地域のためにできることのイメージを広げさせる。

前学年の生活科「まちたんけん」で学んだ、まちの様子を知る学習を生かし、まちづくりについて考えることができるようにしたい。また、地域の様子を知る際には、社会科「広島市の様子」で地域の様子について知り、自分たちの住む地域のまちづくりについて理解できるようにしたい。

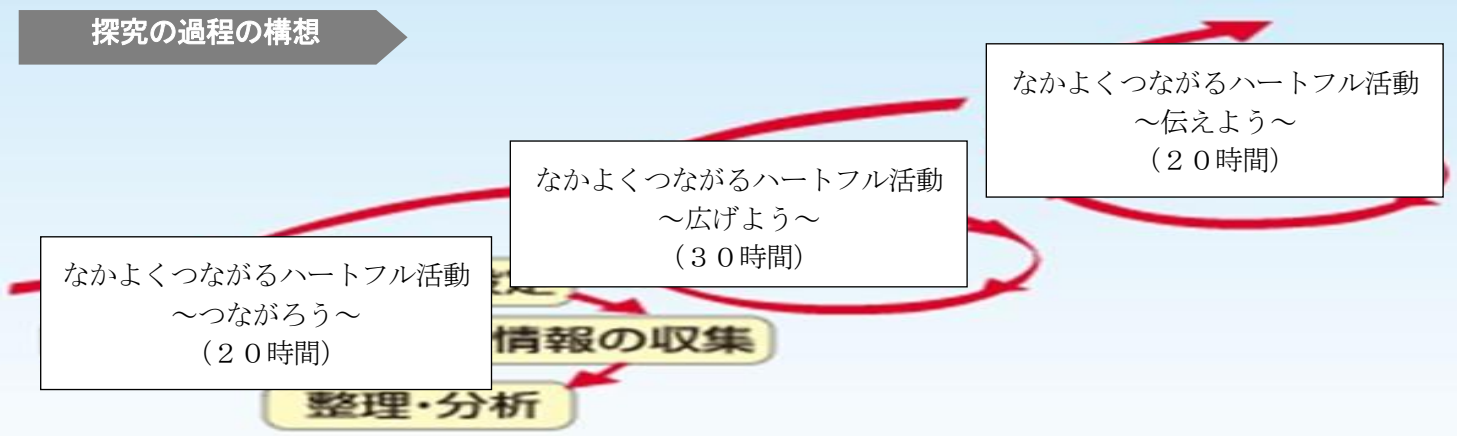
そして、地域の方の話を聞く場面では、国語科「もっと知りたい、友だちのこと」で学習したことを生かし、知りたいことを考えながら聞き、新たな課題がもてるようにしたい。また、国語科「仕事のくふう、見つけたよ」で学習したことを生かし、調べたことを整理しながら分かりやすい文章を書くことができるようにしたい。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ まちづくりに関わる人々の思いや願いを知り、〇〇のまちは人々の努力や協力によって支えられていることに気付いている。	○ 調べたことからまちのよさを話し合ったり考えたりして、分かりやすく伝える活動をしている。	○ 〇〇のまちのよさに気付き地域の一員として愛着をもちながら行動したり生活したりしようとしている。
① 自慢できるまちにするためには、自ら行動に起こすことが大切だと気付いている。	① 自慢できるまちにするために活動している人々との関わりを通して感じたことをもとに問題を見付け出し、課題を明らかにしている。	① 課題解決に向けた取組を振り返ることを通して、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
② 〇〇のまちの状況を捉えるために、目的に応じた方法でフィールドワークや取材活動を実施している。	② 〇〇のまちの現状を捉えるために必要な情報を、取材活動やインターネットなどで収集している。	② 〇〇のまちづくりの活動を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。
③ 地域とつながって生活できていることは、まちづくりについて探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	③ 自慢できるまちにするために、考えを比較したり関連付けたりして理由や根拠を明らかにし具体的な活動を決定している。	③ 〇〇のまちづくりのために自分にできることに取り組むことを通して、自分と地域との関わりを見直そうとしている。
	④ 自慢できるまちづくりを進める活動について、分かりやすく伝えるように発表している。	
<b>出会う学びの財・環境(ひと・もの・こと)</b>		
校内の職員(校長・業務員)	シニアクラブの人	地域で花を育てる活動をしている人
まちづくりに関わる人	(〇〇児童館 大塚公民館	こころ自治会 など)
学校内外における植物	ハートフルボランティア活動の人	ハートフルボランティア引継ぎ式

6 指導と評価の計画（全70時間）

探究の過程の構想





	小單元1 なかよくつながるハートフル活動 ~つながろう~	小單元2 なかよくつながるハートフル活動 ~広げよう~	小單元3 なかよくつながるハートフル活動 ~伝えよう~
<b>課題の設定</b>	本校で18年間続いてきたハートフルボランティアの活動について知り、関心をもつ。 (思①)  (4 h)	まちを知るためにできることを考える。 (思①)  (6 h)	学んだことを伝えるために1年間の取組を振り返る。 (主①)  (2 h)
<b>情報の収集</b>	なかよくつながるハートフル活動を行うために、夏に強い花を調べたり、花の育て方を地域の方に聞いたりして必要な情報を集める。 (知②)  (4 h)	〇〇のまちづくりに関わっている人の話を聞いて必要な情報を集める。 (知①, 思②)  (10 h)	〇〇のまちへの関心を高めてもらうために集めてきた情報を確認し合う。 (思②, 主②)  (8 h)
<b>整理・分析</b>	活動後に地域の方にアンケートを取り、よりよい活動の方法について考え、交流する。 (思③)  (8 h)	まちづくりに関わっている人の思いや願いを基に、自分たちにできることを考える。 (思③)  (2 / 8 h)	自分たちの伝えたいことが伝わる発表になっているのか、情報を整理する。 (知①)  (8 h)
<b>まとめ・表現</b>	活動が継続、発展するために、地域の方が参加したいと思えるような活動の仕方を実践する。 (知③, 主③)  (4 h)	地域の方とつながりをもつため、考えた活動を実践する。 (思④, 知①)  (6 h)	これまで学習してきたことを2年生に伝える。これまでの活動を振り返って、地域との関わりについて自分の言葉でまとめる。 (知③, 主③)  (2 h)

## 7 本時の目標

地域の人の思いや願いに着目し、自分の思いを友達と伝え合いながら、〇〇のまちのためにできることを考える。

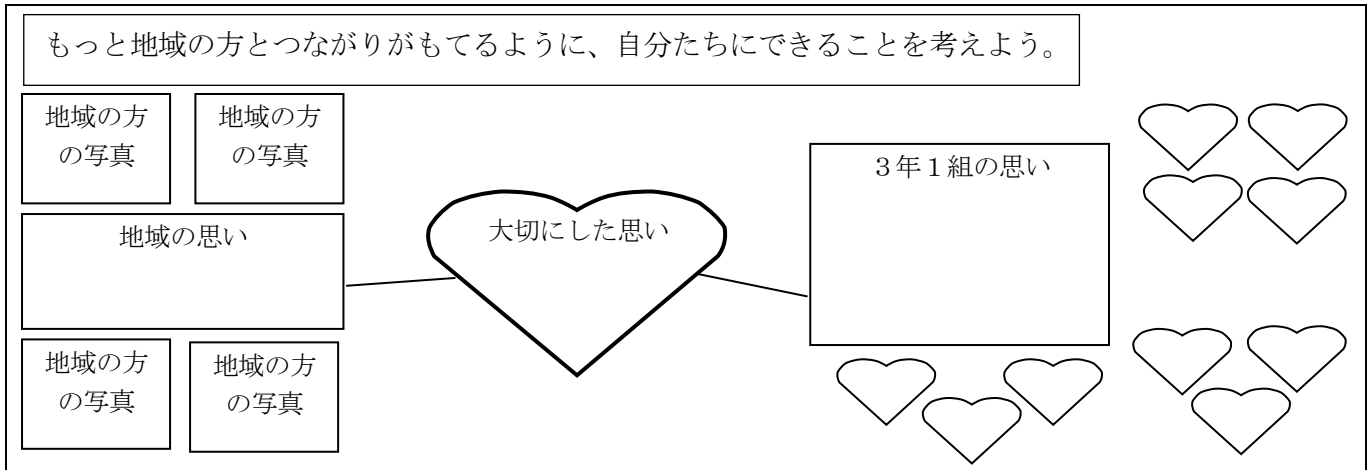
【思考・判断・表現 ③】

## 8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の「めあて」を確認する。</p>	<p>○ 前時までに調べてきたことや、地域の方の思いを確認する。</p> <p>① 地域の方から聞いた情報を整理した。その後、グループごとにまとめたことを学年全体で発表した。</p> <p>② 地域の方々の共通の思いを確かめた。児童は、（例 つながる・明るく元気・協力）という地域の方の思いに気付いた。</p> <p>③ 活動を通して、人とのつながりを大切にしている地域の方の思いを知り、自分たちにできることを考えた。前時に個人思考を行い、自分にできることや、その理由について考えた。</p>
<p>もっと地域の方とつながりがもてるように、自分たちにできることを考えよう。</p>	
<p>3 個人で考えたものをグループで共有する。</p>  <p>清掃活動がしたいな。きれいにすることで、きれいな伴南のまちになりそう。</p> <p>ハートフル活動のように、家族やシニアクラブの方にも声をかけて、みんなで協力するといいかもね。</p> <p>私は前に地域の方に書いてもらったアンケートで「次のハートフル活動も楽しみです」という声があったから、2回目の花を育てる活動でもっと楽しくできる工夫をしたいな。</p>	<p>○ 事前に「ハートフルカード（ピンク色）」を書いておくことで、各自が自分の考えをもって話し合いに参加することができるようにする。</p> <p>○ 共有させる際は、それぞれの考えを比較しながら、共通点や相違点に気付かせるようにする。</p> <p>○ 考えが変わったときは「ハートフルカード（白色）」の裏面に新しい考えを書くことを伝え、意見が変わったことが分かるようにする。</p>
<p>4 個人で考えたものをクラスで共有する。</p>  <p>私は、地域の方と清掃活動がしたいです。協力することで、仲間が深まると思ったからです。</p> <p>私は、シニアクラブの方が月1回清掃活動をしていることを知りました。私たちのハートフル活動に参加していただいたように、次はシニアクラブの活動に参加すると、つながりが深まるのではないかと思います。</p> <p>つながりをつくるためには、私は違うことを考えました。自治会長さんが、「明るいまちづくり運動」で挨拶を広げていきたいという思いを言われていたから、挨拶運動に取り組んで、挨拶でつながれるまちにしたいと思いました。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>本時の見どころ【教師のファシリテート】</b></p> <p>★児童の考えや思いを分類しながら構造的な板書を行い、意見を関連付けさせたり、話題を発展させたりする。</p> </div> <p>○ なぜそう考えるのか、理由も伝えるようにさせる。また、意見が変わったものについては、理由を確認し学びを深める。</p> <p>○ 友達の意見を聞き、みんな（子供・地域）の大切にしたい思いについて話し合わせる。</p>

<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>友達の考えを聞いて、清掃活動もいいなと思いました。理由は、〇〇さんの「地域の方と一緒にまちをきれいにする事で達成感を感じることができる」という意見を聞いて、一生懸命に取り組んで仲良くつながることができたらすてきだなと感じたからです。次の学習では、これまで調べてきた地域の方の思いを大切にしながら、どんな清掃活動ができるか考えたいです。</p>	
<p>6 次時の活動を考える。</p>	<p>○ 次時の意欲につながるように声掛けをする。</p>

8-1 板書計画



9 本時の評価規準と具体的な児童の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p>【思考・判断・表現③】</p> <p>地域の方の思いや願いに着目し、自分の思いを友達と伝え合いながら、〇〇のまちのためにできることを考えている。</p> <p>(発言・行動・振り返りカード)</p>	<p>○ 自分なりの理由や根拠をもって、よりよい〇〇のまちにするために必要なことは何かを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見を聞いて、地域の人と一緒に清掃活動するのもいいなと思いました。でも、私はやっぱりあいさつ運動がいいなと思いました。理由は、あいさつ運動をした時にシニアクラブの人と少しお話ができて仲良くなれたからです。そして、元気にあいさつすることで、心と心がつながった感じがしました。だから私は、地域の人と一緒にあいさつ運動をしたいです。</li> <li>友達の考えを聞いて、清掃活動もいいなと思いました。理由は、〇〇さんの「地域の方と一緒にまちをきれいにする事で達成感を感じることができる」という意見を聞いて、一生懸命に取り組んで仲良くつながることができたらすてきだなと感じたからです。次の学習では、これまで調べてきた地域の方の思いを大切にしながら、どんな清掃活動ができるか考えたいです。</li> </ul>

10 本時の見どころ

- 理由や根拠を友達に説明することができていたか。
- 児童同士の考えを板書で共有することで、友達の新たな考え方を知ったり、考えを深めたりすることができていたか。